

新 みんなで取り組む 「教育立県ちば」プラン

「ふれる」・「かかわる」・そして「つながる」

あいさつ



千葉県には、数多くの宝・ポテンシャルがあります。

私は、これらをより一層磨き上げ、生かしていくことで、県民の皆様が「暮らし満足度日本一」を感じ、次世代に誇れるような「日本一の光り輝く千葉県」を実現することができると考えています。

そのためには、「千葉の未来を担う子どもの育成」が大変重要であり、子どもたちの強く、美しく、元気な心を、県民の総力を結集してしっかりと育てていくことが大切です。

一方で、少子高齢化やグローバル化、情報通信技術の進展など、教育を巡る環境の変化の中で、いじめ問題をはじめ多くの教育課題が生じています。

また、国においても、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正による地方教育行政制度の見直しや、道徳の教科化などの取組が進められています。

千葉県では、こうした状況を踏まえながら、本県の様々な教育課題への議論を深めていくため、平成25年度に「光り輝く『教育立県ちば』を推進する懇話会」、平成26年度に「光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を設置し、有識者の方々から意見をいただいております。

そして、この会議での意見を基本とし、多くの県民の皆様から意見をいただきながら、このたび第2期教育振興基本計画として、「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定いたしました。

本計画においては、子どもたちが、夢や希望の実現に向けて、高い志を持ち、困難な課題を乗り越え、生きていく力を育てていくこと、また、日本人としての自覚とアイデンティティを持った上で、豊かなコミュニケーション能力や異文化理解の精神を身につけ、様々な分野で活躍できるグローバル人材を育てることを大きな施策の柱としています。

本計画に基づき、教育委員会をはじめ、学校や保護者、多くの関係者の方々と共に、「子どもを学ばせるなら千葉県」という質の高い教育を確立し、「教育立県ちば」「教育日本一の千葉」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

平成27年2月

千葉県知事

森田健作

失敗を恐れずチャレンジする人材の育成を目指して

千葉県では、平成 22 年 3 月に教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定しました。この計画では、「10 年後の子どもたちの姿」など、千葉県教育が目指す姿を描き、これらを実現するための 3 つの大目標（プロジェクト）や施策の方向性を示しつつ、当面の 5 年間（平成 22 ～ 26 年度）に実施する重点的な取組を盛り込み、具体の施策を展開してきたところです。

この間、国においては、平成 25 年 6 月、「社会を生き抜く力の養成」など 4 つの方向性からなる第 2 期の教育振興基本計画を策定しました。また、昨年 11 月には、育成すべき資質・能力を子どもたちに確実に育む観点から、新しい時代にふさわしい学習指導要領等の在り方について、中央教育審議会に諮問がなされるなど、教育改革を巡る様々な動きがありました。

県教育委員会としては、こうした状況を踏まえながら、県の第 2 期教育振興基本計画を策定するため、平成 25 年度には「光り輝く『教育立県ちば』を推進する懇話会」、平成 26 年度には「光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を開催し、本県の教育課題を整理するとともに、大所高所からの御意見をいただきました。また、教育関係者からの意見聴取やパブリックコメントなどを通して、県民の方々からも、数多くの御意見をいただいております。

こうした多くの御意見を踏まえながら、ここに、第 2 期教育振興基本計画「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」を策定することができました。ここでは、10 年後の子どもたちの目指す姿などを第 1 期計画から継承しつつも、重点をより明確にするなど様々な改善を図りました。

具体的には、志を持ち、失敗を恐れず様々な事に果敢にチャレンジしていく子どもたちの育成を大きな目標（プロジェクト）に格上げするとともに、いじめ防止対策や人格形成の基礎を培う幼児教育を、それぞれ新たな重点施策と位置付けました。また、特別支援教育について、早期から卒業後の暮らしまでを一体的に再構成して充実させたほか、学びのセーフティネットとして、経済的理由など様々な困難への支援について取組の充実を図ることとしました。

さらに、公私立学校間の連携やオリンピック・パラリンピックへの対応など、これまで以上に県の部局間の連携を深めて取組の充実を図ってまいります。

そして、「すべての大人が子どもたちの育成にかかわる」ために、学校、家庭、地域が関わり、つながることにより、さらに大きな教育力として、「教育立県ちば」の実現を目指していきます。

「すべては子どもたちのために。」

平成 27 年 2 月

千葉県教育委員会

目次

第1章 計画策定の基本的な考え方	1
1 計画策定の趣旨	2
2 計画の性格	3
3 計画の期間	3
4 策定のプロセス	3
第2章 千葉県教育の目指す姿	5
1 千葉県教育をめぐる現状	6
2 第1期計画の検証と今後の重要課題	18
3 千葉県教育の目指す姿	22
4 基本的な取組方針	24
第3章 施策の方向と5年間に実施する重点的な取組	25
施策体系 施策と重点的な取組の方向性.....	26
I 志を持ち、失敗を恐れずチャレンジする人材を育てる ～夢・チャレンジプロジェクト～.....	29
施策1 社会を生き抜く力を育む主体的な学びの確立.....	30
施策2 道徳性を高める実践的人間教育の推進.....	35
施策3 生きる力の基本となる健康・体力づくりの推進.....	40
施策4 社会的・職業的に自立し地域で活躍する人材の育成.....	44
施策5 郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成.....	49
II ちばのポテンシャル（潜在能力）を生かした教育立県の土台づくり ～元気プロジェクト～.....	55
施策6 人間形成の場としての活力ある学校づくり.....	56
施策7 教育現場の重視と教員の質・教育力の向上.....	61
施策8 いじめ防止対策の推進.....	65
施策9 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実.....	69
施策10 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	72
施策11 読書県「ちば」の推進	77
施策12 フェアプレーの精神を育て、楽しさや感動を分かち合うスポーツの推進	81
施策13 ちば文化の継承と新たな創造	85
施策14 安全・安心な学びの場づくりの推進	88

Ⅲ 教育の原点としての家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる	
～ チームスピリットプロジェクト ～	91
施策15 親の学びと家庭教育への支援	92
施策16 つながりや支え合いによる地域コミュニティの形成と生涯学習社会の実現	95
施策17 学びのセーフティネットの構築	101
第4章 計画の推進に当たって	107
1 県民一体となって取り組む体制づくり	108
2 計画の進行管理	109
資料編	110
計画の策定経過	110
ライフステージに対応した施策概要	114